

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成24年1月2日（月）～1月8日（日）〔平成24年第1週〕の感染症発生状況

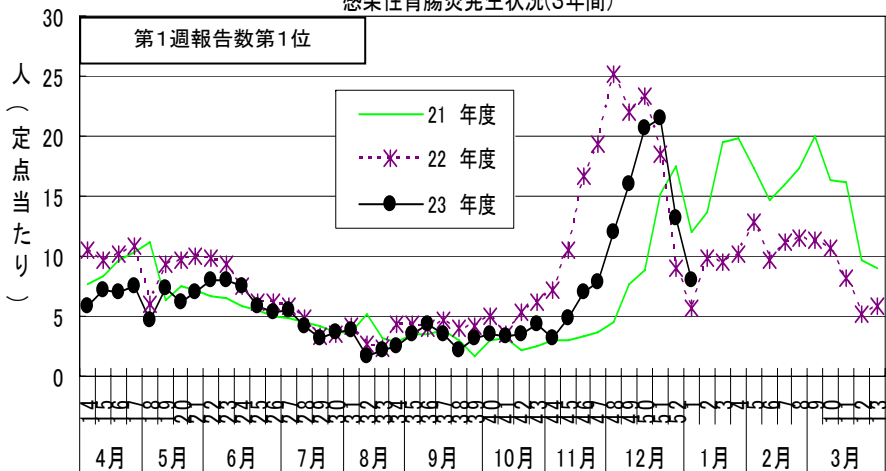
第1週で患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)水痘 3)インフルエンザでした。

感染性胃腸炎は定点当たり8.06人と前週（13.09）より患者報告数は大幅に減少していますが、第1週は年末年始の期間であり、休診医療機関が多かったため、全体的に報告数が少なくなったものと推測されます。

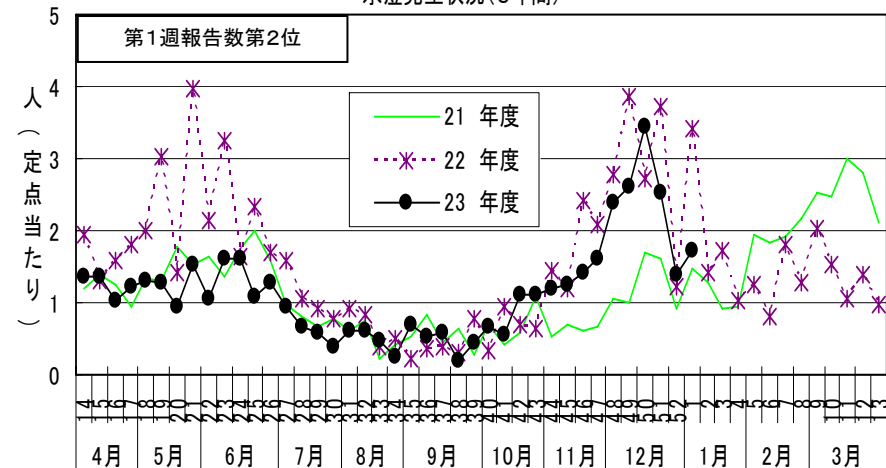
インフルエンザは定点当たり0.52人と前週（0.20）より患者報告数が2倍以上増加しており、休診状況を考慮すると、実際の増加率はより大きいと推測されます。

マイコプラズマ肺炎の報告が1件ありました。昨年末に非常に多くの報告ありましたが、今年も引き続き発生動向に注目する必要があります。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



水痘発生状況(3年間)

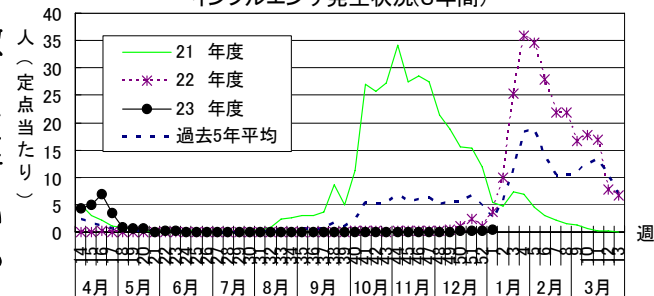


『咳エチケット』をみんなに広めて！！
インフルエンザを誰にも広げない！！

例年、今の時期から2月上旬のピークにかけてインフルエンザの患者数が急増します（右図参照）。

そのため、手洗いや予防接種などの対策をとるとともに、自分が患者になったときに他人に感染させないための「咳エチケット」についても心がけましょう。

インフルエンザ発生状況(3年間)



咳エチケットを守りましょう！！

咳、くしゃみをする時にはインフルエンザのまん延防止のためにも、
「咳エチケット」を守りましょう。

1. 咳やくしゃみなどの呼吸器症状がある方は、必ずマスクを着用しましょう。
2. 咳やくしゃみをするときは、ハンカチやティッシュで口や鼻を押さえ、ウイルスの飛散を防ぎましょう。
3. 使用したティッシュなどは、ゴミ箱に捨てましょう
4. 咳やくしゃみをした後は、石けんを使用して、よく手を洗いましょう。

